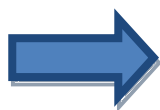


校長の自慢

独自教材『TAG から N-TAG へ』



「用意 始め！」ストップウォッチ片手の2年生の担任永喜教諭が号令をかけます。生徒たちは2分間の間に必死で計算問題を解きます。教室には、生徒たちのペンを走らす音しかしません。

「止め、プリント集めて」の担任の声に一番後ろの生徒がプリントを回収します。そして、担任は次の計算プリントを配ります。回収したプリントは、教室にいる他の2人の先生の手渡し、即座に答え合わせが行われます。2分間×4セットの集中的学習を終えた生徒は「ふ～ 終わった!」「やった 全部できた!」「俺って天才!」「これで帰れる」「あかん 居残りや」これは、2年生の **T-week***の毎日の **HR** の一コマです。



平成21年

当時の先生方も日々の教材作りに苦労していました。公文式の導入も検討しました。しかし若手教員から「独自教材」を作り、自学自習できるようにしようという機運が高まりました。基礎学力育成を踏まえた独自教材を作ることし、GP事業の一環として東京や神奈川に研修にも出掛け、他校を参考に英数国の「TAG」(Try, Achieve, Grow up)が誕生しました。

平成24年

「TAG」を改良して「N-TAG」を作り上げました。コンセプトは2つ。

1つ目は「学び直し」。より生徒の実情に合わせた内容にしました。生徒たちに解ける喜びや達成感を味わってもらえるように内容を工夫しました。それが「N-TAG 基礎編」です。そして2つ目はキャリア教育。いくら基礎力だけを付けても、企業が求める人材とはなり得ません。就職試験に合格する力なく、就職の道は開きません。そこで、過去の就職試験問題を取り入れた「N-TAG 実践編」を作りました。



2年生が計算問題に取り組んでいる同じ時間に、3年生は「N-TAG 実践編」に、1年生は学び直しとして「N-TAG 基礎編」に挑戦しています。本校では、この学び直しや就労支援を総合学習や **T-week** として全校の取り組みとしています。

本校には、逞しい苗木もいれば、か細い苗木もあります。そこで、「TAG」という元肥を入れた土を準備しました。毎日の声掛けという水遣りは欠かしていません。また、時応じた改良という追肥も与え、苗木がすくすく成長することを感じています。きっと **ONLY ONE** の花を咲かせてくれるはずです。

*期末考査後の午前授業中の毎日の **HR** で、将来の進路を考え、基礎学力をつける期間